

■ 今後必要な施策と事業規模(案)

※個別事業費や総額については、今後必要な行政需要があることを示すために試算したものである。よって、新たな財源を活用した具体的な事業については、事業実施年度の予算編成時に検討していくこととなる。

方向性	現在の主な事業	主な新規・拡充施策(案)	事業規模
方向性① 年中訪れたくなる、魅力的なコンテンツの発掘・創出	体験プログラム創出／まつり等開催支援／サイクルツーリズム推進／西部地区観光地域おこし協力隊 等	温泉や自然、歴史、音楽、スポーツ、食などの資源を活かした体験プログラム創出／閑散期の誘客を促進するコンテンツの開発／宿泊促進のための都市型イベントの充実／商店街の回遊促進／観光施設整備 等	4～5億円
方向性② ストレスフリーで旅行できる、快適な受入環境づくりの推進	市内中心部環境整備(るーぶる仙台運営委託等)／西部地区環境整備(秋保・里センター運営等)／仙台市観光情報センター運営 等	市内観光地を結ぶ二次交通の機能向上／増加する外国人旅行者への対応強化(多言語化、トイレ洋式化等)／多様性に対応したバリアフリー化の推進／宿泊施設の受入環境向上 等	3～4億円
方向性③ マーケティングを重視した、国内外への効果的なプロモーション	首都圏誘致セールス／伊達武将隊を活用した観光客誘致／WEB及びSNS等による情報発信／インフルエンサーやメディア等招請による情報発信 等	効果測定に基づく施策展開のためのデジタルマーケティングの推進／西日本からの誘客促進／タイや台湾などへの戦略的なプロモーションの拡充／アウトバウンド促進など航空路線の維持・拡大 等	3億円程度
方向性④ MICE参加者やビジネス客など、観光目的以外の旅行者向け施策の充実	コンベンション誘致／企業系会議等誘致／MICEサポートセンター運営／コンベンション参加者の回遊性向上／仙台国際センター運営 等	観光目的以外の旅行者(ビジネス客、スポーツ大会参加者・観戦者等)の誘客／MICE参加者の回遊性向上／MICE参加者に対する市民の歓迎意識醸成／ユニークバニエーの開発・利用促進 等	3億円程度
方向性⑤ 県内・東北への旅行者の周遊促進を図る、東北のゲートウェイ機能の強化	東北の観光案内所のネットワーク化／東京オリパラに向けたプロモーション／東北絆まつり開催／東北の食材を活用したカフェ・レストラン設置 等	東北連携による海外プロモーション強化／広域二次交通の機能拡充／立体観光の推進／東北の食文化を体験するツーリズムの推進／来仙旅行者の県内・東北への周遊促進 等	2～3億円
方向性⑥ 持続的な交流人口拡大施策の実現に向けた、官民連携による推進体制の確立	仙台観光国際協会運営／交流人口ビジネス表彰制度 等	官民連携推進組織の設立・運営／観光人材の育成・確保／交流人口ビジネスに関わる起業支援や他業種からの参入促進／地域の観光マネジメント機能強化 等	3億円程度

【令和元年度 観光費(補正を含む現計予算額)】

15.6億円

・一般財源等: 13.4億円

・東北観光復興対策交付金等: 2.2億円(内 東北観光復興対策交付金1.9億円, 地方創生交付金0.3億円)

※詳細は第1回交流人口拡大財源検討会議資料参照

事業規模
合計

18～21億円